

大ホール機能の現状と検討の方向性（案）

現在の施設データ・特徴

- ・プロセニアム形式の舞台 1307席
主舞台広さ：約250m² (18m × 14m)
オーケストラピット：約96m²
残響時間：約1.5秒（反射板・空席時）
楽屋5室



今後の活用（案）

- ・音響反射板利用によるオーケストラコンサート、コーラス、吹奏楽等
- ・ポピュラー、ジャズ、ロック等
- ・オペラ、伝統芸能、演劇、舞踊(バレエ・ダンス・日本舞踊等) 等
- ・大会・集会等



反映を目指す主な市民意見

- ・現ホールのように多目的に利用できるホールにしてほしい。
- ・多様な利用者（高齢者、障害者、子ども・若者）にとって利用しやすい場所にしてほしい。
- ・音響性能、設備の向上
- ・市民の文化芸術の発表に重点を置いた使い勝手の良いホールにしてほしい。
- ・緞帳は設置してほしい。（音響版を使うと緞帳が使えないなどならないように）
- ・オペラ公演ができるホールにしてほしい。
- ・プロの公演誘致（著名なアーチストや交響楽団のコンサート）

小ホール機能の現状と検討の方向性（案）

現在の施設データ・特徴

- ・プロセニアム方式（平土間）300席
ホールの広さ：約250m²（14m×18m）
残響時間：約0.8秒
楽屋1室



今後の活用（案）

- ・演劇、ダンス・バレエ、伝統芸能
- ・室内楽、器楽、歌唱、軽音楽等
- ・集会・大会・展示等

反映を目指す主な市民意見

- ・現ホールのように多目的に利用できるホールにしてほしい。
- ・多様な利用者（高齢者、障害者、子ども・若者）にとって利用しやすい場所にしてほしい。
- ・市民の文化芸術の発表に重点を置いた使い勝手の良いホールにしてほしい。
- ・大・小ホールがそれぞれ音漏れがないように防音をしっかりしてほしい。
- ・大・中・小の3つくらいのホールがあると良い。
- ・駅前広場との一体感が出るように期待している。
- ・現ホールの発表や催物だけでなく、様々な形の文化芸術活動が可能な施設にしてほしい。

リハーサル室・楽屋・練習室機能の現状と検討の方向性（案）

現在の施設データ・特徴

- ・リハーサル室 平土間型（約56m²）
- ・楽屋（大ホール5室 小ホール1室）
- ・練習室 なし



今後の活用（案）

- ・各種練習・リハーサル・収録
演劇、舞踊(バレエ・ダンス・日舞等)、オペラ、伝統芸能等、ロック、ポピュラー、JAZZ等、吹奏楽、コーラス、室内楽、オーケストラ等
- ・楽屋（大部屋）兼用
- ・ワークショップや会議等



反映を目指す主な市民意見

- ・現ホールは楽屋が小さいし、少ないと思う。
- ・リハーサル室のみの利用を可能にしてもらえると、練習場所に使える。
- ・市内で不足している、市民の活動で使える会議室や音楽練習室、学習室等
- ・土日以外ホールが使っていない時に市民が使用できる舞台も練習できるように。



ロビー・ホワイエの現状と検討の方向性（案）

現在の施設データ・特徴

- ・約140m²
- 情報コーナー・インフォメーション



今後の活用（案）

- ・情報コーナー・インフォメーションで催しをはじめとする様々な情報に触れられる
- ・開館時間中、いつでも、だれでもが集い、語らうことができる
- ・展示などを通じて様々な文化・芸術に触れられる



反映を目指す主な市民意見

- ・駅前広場との一体感が出るように期待している。
- ・グリーンホールの催し物と駅前広場イベントが連携できると良い。
- ・グリーンホール周辺の歩行者の安全確保（歩行者動線や集えるスペース）
- ・現ホールは外から観て何をやっているかわからないので、外から観て当日の催しがわかったり、中の様子がわかると良い。
- ・市民が美術作品を発表できる展示室（ギャラリー）
- ・建物内と外とつながるような形にして、活動が外に見えれば触発されて次の活動につながるかもしれない。駅を降りたら音が聴こえる、何か飾ってある、ホールに向かう動線から何か展示されているのが見える。文化の動線ができると良いのではないか。
- ・待ち合わせなどでも使える立ち寄りやすい施設、無料の休憩スペース

事務室等の現状と検討の方向性（案）

現在の施設データ・特徴

- ・管理事務室（約80m²）、更衣・給湯・化粧室・倉庫、委託事業者控室

今後の活用（案）

- ・施設利用サービスだけでなく、事業・制作、広報・宣伝、営業・票券、施設管理などの業務を行う
- ・相談や催し物の企画について相談対応

反映を目指す主な市民意見

- ・文化芸術に詳しい専門家を置き、様々な相談や催し物を企画する。
- ・グリーンホールでの催しの広報をもっとやってほしい。
- ・そこで働く人の執務スペース等も計画に入れるべき



その他設備の現状と検討の方向性（案）

現在の施設データ・特徴

《トイレ》

- ・大ホールトイレ個数39個

(男子：11 女子：28)

- ・入り口に傾斜あり

《エレベーター》

- ・1基（定員13人/900kgまで）

《親子鑑賞室》

- ・なし



今後の活用（案）

- ・バリアフリーの充実
- ・親子鑑賞室の設置 など

反映を目指す主な市民意見

- ・主催者（演者）側、お客様側双方のバリアフリー向上
- ・現グリーンホールのトイレは使いにくいので改善してほしい。
- ・子どもと一緒に観覧できる親子鑑賞室を設置してほしい。
- ・障害者の方で声を出してしまう方が観覧できる鑑賞室を作ってほしい。
- ・いくつかエレベーターがあれば、そのうちの1基を「障害者・児童・高齢者優先のもの」にしてほしい。

事例：大ホール



めぐろパーシモンホール



ひらしん平塚文化芸術ホール 大ホール

事例：小ホール



小田原三の丸ホール 小ホール



茨木市文化・子育て複合施設
おにくる



立川グリーンスプリングス

事例：リハーサル室・楽屋・事務室



セゾン文化財団森下スタジオ



北上市文化交流センター さくらホール
サービスセンター（執務室を兼ねた来館者へのサービス提供窓口）

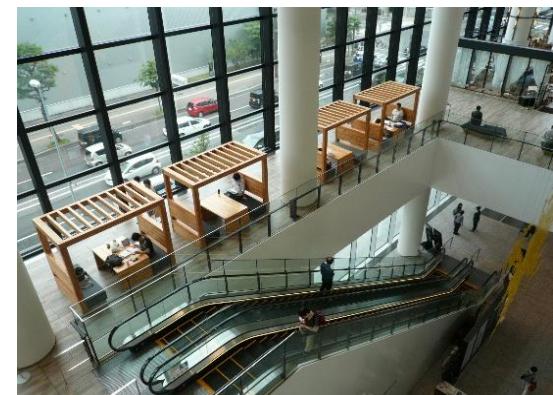
事例：ロビー・ホワイエ・エントランス



せんだいメディアテーク
エントランス



三重県津市久居アルスプラザ



札幌市民交流プラザ

事例：トイレ・託児スペースなど



東京建物BilliriaHALL
男女間仕切りの可変



いわきアリオス
キッズルーム
※託児の専有利用がない
ときは公開



岡山芸術創造劇場 ハレノワ
ウォークスルー（通り抜け）



パルテノン多摩
子ども広場OLIVE